

兵庫県立西脇北高等学校 平成26年度学校関係者評価

1 学校教育目標

変化の激しいこれからの社会の中で、自立して豊かな人生を送るために、必要な「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」を身につけさせる。

2 学校教育方針

地域ボランティア活動により生徒に自己有用感を持たせるとともに、基礎学力の定着及び人間関係スキルを習得させることで、自信と誇りを身につけさせて一人ひとりの自己実現に結びつける。

4 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

・綿密・客観的で工夫されており、教職員が真面目に取り組んでいる。量が多いので、時間的にタイトではないか。
 ・7月、12月における保護者アンケート及び生徒アンケート、並びに9月、1月の自己評価と、様々な視点からの質問、そして多くのデータをもとにした詳しい分析・処理は、本校の教育活動が外部の者にとっての確に把握しやすく、極端ですが一人一人の生徒の様子が手に取るようにわかります。
 ・以前と比べて、随分書きやすくなっていて、学校の取り組みもよくわかり、工夫されている。
 ・細かく分析された評価については、いつも感心している。近隣の他校には、これほどの評価はされていないように思う。この方法で引き続き評価をされ、学校の組織をマネジメントすることにより、生徒と先生や地域が一体となった高校の実現を目指してほしい。
 ・具体的な数値化をもって目標に取り組むことは、学校、生徒の双方に分かりやすいと思います。その反面、長年続いていくと、見誤る危険もあるかと、思います。

・校長をはじめ、全職員が一丸となって県立西脇北高校を輝かせ、広く知らしめ、生徒に自信を持たせる教育に邁進されていることがよく伺え、西脇市としても、とてもうれしく、誇りに感じています。さらなる躍進を期待しています。
 ・各分野、評価項目・取り組み内容ごとに、成果、課題、改善策が明確かつ、具体的に述べられており、目指そうとする方向が見てとれます。当然、個々の職員の意識も高く、組織として機能し、機動力、組織力、連携力のバランスのとれた学校運営がされています。データが多岐にわたり多方面からの分析がなされており、改善策が遂行できるよう期待しています。なお、数値目標は、具体的な取り組みを推進する上で大切なことですが、数字だけが先走ることなく、内容がどうか等の考察・検証は常に必要だと思います。
 ・年々、多部制としての良さが出てきている。西脇北高独自の方式が確立されてきていると思います。先生方のご苦勞も大変でしょうが、自信を持って前進していただきたい。
 ・近年の高校生は、就職しても続かないことが多い。また、勉強がよく出来る優秀な生徒ほど何も表現が出来ない。ありのままの自分を表現、PRすることが出来る生徒、また、当たり前前かがり前のことが当たり前出来る生徒の育成が大切であると考えます。これまでの評価を無にすることなく、引き続き西脇北高の生徒のために力を貸していただきたい。
 ・学校の綿密な取り組みに敬服します。
 ・全ての分野においての学校側の対応、取り組み、素晴らしいと思います。内容を読むことにより、先生方の考え方や努力が分かったような気がします。今後も学校の成長、生徒の成長のために、よろしくご協力願います。
 ・現状より、さらにオールマイティーで、高いレベルで自立する人間教育を目指してほしい。

3 学校自己評価結果(A 優れている B 良い C やや改善 D 要改善)

分野	評価項目・取り組み内容	評価	成果	課題	改善策
1 教育活動全般に関する取り組み	・円滑な校務運営 ・地域、育友会、同窓会等との連携 ・地域、中学校等への広報活動 ・HPや北高だより、メールを利用した広報活動の推進	A	・HPのレイアウトを刷新するとともに、学校ブログの内容更新を行い、携帯電話からも見やすいシステムに変えることで、閲覧数が4万件を超えた。 ・学校行事や警報発令時の生徒連絡などHPを通じて生徒・保護者連絡できるようにした。 ・北高だよりを10回発行した。 ・7割の職員がグループウェアを使用し、情報伝達がスムーズになった。 ・育友会、地域と学校行事等を通じて、協働で学校活性化に努めた。 ・地域中学校担当者を設定し、連絡調整を密にした。 ・メール配信システム(登録数77、配信数6)を新たに設けることができた。	・学校の取り組みについて、地域・中学校等には理解されてきたが、本校の保護者の中に十分に伝わっていない人もいいる。 ・グループウェアを十分に活用できない職員がいる。	・メディアを通じての広報活動は間接的なものとなり保護者に伝わるのに限度があるので、今後は保護者の来校機会を増し、直接に働きかける広報活動に取り組む。 ・北高だよりの認知度の低さに関しては、保護者に手渡されていないことが原因である。保護者や来賓が来校する際に積極的に配布し、認知度を高める。 ・他校の連絡はHPに掲載しており、クラスによっては全員が認識している。担任から生徒にHPを見るよう誘導させていく。 ・全職員がグループウェアを利用できるように研修する。
2 本校の特色ある取り組み	・ボランティア活動の充実 ・北高検定、コーピングの充実	A	・のべ85回、892名の生徒が地域ボランティア活動に参加し、第4回東日本大震災現地ボランティア活動に加え、丹波市豪雨災害現地ボランティアを4回実施することができた。 ・年間5回の北高検定は、定着してきた。国語と数学は6級以上の上位級に合格した者が昨年度と比べて60%増加し、特に数学の全体合格者数は、昨年度に比べて40%増加している。 ・コーピング・リレーションタイムで学ばせる人間関係スキルについて、約60%以上の生徒が日常の生活で使うことがあり、効果があるとアンケートで答えている。また、本年度から取り入れた学習スキルを学ばせるコーピング・メソッドタイムの教材はほぼ完成した。学習単元の1つである「記憶のスキル」は約80%の生徒が、通常の授業で使ってみたいと答えている。	・ボランティア参加者の固定化が見受けられる。 ・北高検定の「英語」の合格者が伸び悩んでおり、その指導方法に工夫が必要である。 ・コーピング・リレーションタイムで学ぶ内容については、多くはないが否定的な見方をする生徒がある。このような生徒に対する指導方法に工夫を要する。 ・コーピング・メソッドタイムで身につけた学習方法の成果を計ることが困難である。	・ボランティア活動の参加人数を30%増加させる。そのための啓発活動を進めるとともに、ボランティア活動の質的拡充を図る。 ・兵庫教育大学と連携し、ボランティア活動と自己有用感の関係についての共同研究を通じて、ボランティア活動の成果の分析を行い、問題点を明らかにしていく。 ・北高検定合格者数30%増、5級以上の合格者数60%増を目指し、北高検定に係る情報を教務部便り「学び」等で、学習方法を交えて活発に行う。また、現在、年次主導で行っている週末課題も、北高検定合格に向けて積極的に活用する。 ・コーピング・リレーションタイムでの学習内容をより多くの生徒に適した形になるようにワークシートを見直す。 ・コーピング・メソッドタイムで身につけた学習方法の活用とその成果を生徒自らがレポートにする。
3 生徒の	・学習指導の充実 ・多部制、単位制の利点を活かした教育課程の編成 ・多部制、単位制にふさわしい教務規程の運用 ・学習環境の整備		・自由選択授業の履修や必修科目の再履修のために1部～3部の相互乗り入れを行った。また、高等学校卒業程度認定試験や技能審査、網干高校との定通連携併修による単位認定を積極的に推進した。 ・「数学・理科甲子園」に出場するために、参加希望者に理系科目の補習を継続して行っ	・多部制、単位制の利点を十分に生かした教育課程を編成し、教務規定を運用するためには、現在の教務規定を見直す必要がある。 ・現在、補習の形で行っている進学希望者への教科指導	・現行の教務規定をより多部制・単位制の利点を生かした形にするために、教務規定の細部からの見直しを組織的に行う。 ・多様な生徒のニーズに答えるために、国語や英語を中心として選択科目の習熟度別の授業を展開する。 ・本の貸出数を30%、図書室の利用者数を

6 評価項目ごとの学校関係者評価

学校自己評価の結果及び改善策についての評価

・ITを工夫し、現代社会に対応した新しい高等学校像を造っている。(労働の軽減につながる反面、過重にもなり得るので、さらに研究を深めながら取り組んでください。)
 ・メディアを通しての広報活動について、多大な努力をされていることについて敬意を表する。多くの地域の方々をHPに誘導することは効果的であるが、この取り組みを粘り強く進めることが大切であり、引き続き取り組まれます。
 ・HP、ペーパーとも充実しており、今後の様々な取り組みに期待が高まります。
 ・どこの学校でも、保護者に対しての連絡などには苦勞されている。特に定時制では、保護者の学校に対する関心の低さがネックになっているので、大変困難だと思いますが、一層の努力をお願いします。
 ・全職員の「共通理解と共通実践」は昔からよく言われるが、最も難しい。十分な話し合いをすることしか、方法はないのかも思います。
 ・西脇北高は地域(特に西脇・多可)の学校であるという意識が、地元住民には高い。この点を見れば、広報や「たかテレビ」など地元のメディアももっと活用することが必要である。多可・西脇に限らず、北播磨地域の各市町との連携を深めることにより、さらに取り組みの効果が期待できる。
 ・生徒一人ひとりに目を配ることは、物理的に限界があると思いますが、全職員あげてのフォローを期待します。
 ・HPや北高だよりの内容など充実している点で、評価として妥当だと思います。改善策として、来校機会を増やすことも大事だと思いますが、一つの行事に対して、いかに多くの保護者を来校させるかと考えることも大切なのでは、と思います。
 ・大きな行事の土曜日開催は、画期的であり、保護者、一般の方々も含め、参加率が格段に向上した。
 ・ボランティア活動については、伝統になりつつあるくらい、市民に浸透してきています。努力の継続に敬服します。
 ・ストレスは生徒に限らず、誰にでもあるもの。メンタルヘルス対策として、コーピング手法を取り入れられて、生徒との間隔を縮められていることを評価します。
 ・「ボランティア活動の北高」は、定着してきており、個々の良さを伸ばし、そこから生まれる自信と誇りと思いやりが、さらに全校生に広がることを期待しています。
 ・地域でも、ボランティアの西脇北という評価がされてきている。ボランティア活動で、生徒自身に自覚ができていくことが、うれしい。
 ・地元の多可町からも、西脇北高でボランティアをしたいと希望する生徒がいる。素晴らしいことであると同時に、非常に活気に満ちている。多可・西脇の各地域での活動発表をされたことの結果であると考えます。
 ・北高検定については、素晴らしい取り組みである。また、職員室前で学習する生徒を多く見るようになり、近隣校にもある光景になったのではないかと、さらなる指導力の工夫に期待したい。
 ・最近では、「ボランティアと言えば、北高」と言われるくらい認知度は増えています。さらにアップするよう、希望します。
 ・ボランティア活動に対しては、各イベントなどで、北高生徒を見かける機会が年々増えている事にうれしく思います。先生方の取り組みの成果だと思います。生徒に対しては、色々な性格を持っているので、その点を理解し、進めていくことが必要なのでは、と思います。
 ・ボランティアの本家ともいえる。本校の被災地域への素早い対応力は、高い評価がされて当然です。

・生徒のコミュニケーション能力を向上させることが大事と考えます。思考力・聞く力・話す力が重要。
 ・中学校は以前、教師の力量UP(生徒の力を引き出す)のために、「発問研究」を3カ年ほど取り組んだことがある。
 ・生徒たちの学習に対する欲求や学習への手がかりを学校側が適切に把握し、個々のニーズにあった取り組みをされている。
 ・進路指導の点でも指摘されているように、基礎学力の充実が最大の課題であると思います。小中学校でつまづいた生徒の多くは、学力で自信をなくしている場合が多いので、より一層のご努力をお願いします。
 ・図書室の利用法など、随分改善されてきていて、評価できます。
 ・学校生活を安定させ、よりよい生徒の育成には、「教育環境整備」は不可欠である。図書の充足率を上げ、希望に応じた図書を導入す

兵庫県立西脇北高等学校 平成26年度学校関係者評価

学力を伸ばす取り組み	・図書室の環境整備、活動推進	B	た。 ・学習支援のため、質問キャンペーンを実施した。また、教務部便り「学び」を4回発行し、集会を通して全生徒に呼びかけを行った。また、職員室前に質問コーナーを設置した。 ・昨年度より図書館利用者数が20%、本の貸出数が56%増加した。また、図書室に親しんでもらえるよう、図書室を使った授業を推進し、レファレンス大会・ブックトークなどの催しを行った。	を継続しながら、より効果的な指導法を推進する必要がある。 ・古い本が多く、貸し出される本が新しく購入した本を置く棚に集中している。	30%増加させる。	るなど、引き続き取り組みを進めたい。 ・「数学・理科甲子園」に出場されたこと自体、意義があることであり、生徒の自信にもなった。次年度も出場できるのであれば、期待したい。 ・学力向上は、なかなか困難な問題です。中学の復習時間を増やしていければと思います。
------------	----------------	---	--	--	-----------	--

3 学校自己評価結果(A 優れている B 良い C やや改善 D 要改善)

分野	評価項目・取り組み内容	評価	成果	課題	改善策
4 生徒指導	・生徒が自分自身を大切にし、自己実現を図るための取り組みの充実 ・生徒が人を大切にするための取り組みの充実 ・いじめを許さない環境作り	A	・ホットスペースでの「声かけ運動」による声かけ回数を昨年度より41%増加させ、生徒を受容し、心の居場所を提供することができた。 ・生徒会活動や部活動、その他の体験活動を通して他者を思いやり、自分自身を大切にできる態度を育てた。 ・いじめアンケートやいじめを許さない雰囲気醸成し、いじめの未然防止に努めることができた。 ・これまでの課題に加え、現代的な視点からのものも含め、8回の講演会をすることができた。	・体育祭、文化祭などの学校行事に生徒がより主体的に参加できるよう工夫が必要である。 ・部活動に参加する生徒が増加するような取り組みが必要である。	・生徒の意識や意欲を涵養するために、長期的な視野に立って詳細な計画を立てる。 ・部活動紹介等を充実させ、学校全体で部活動を活性化する取り組みを進める。
5 進路指導	・キャリア教育の推進 ・組織的な進路体制の整備 ・進路実現のための学習支援	A	・上級学校見学や企業見学、職業体験セミナー、インターンシップ、キャリア講演会等が計画通り実施できた。 ・就業体験活動において、85%の生徒が活動することができた。 ・生徒の進路希望により適切に対応できるよう、分掌組織を改善した。 ・新たに、数学・理科の補習を始めた。	・国立大学や有名私立大学の推薦入試が不調に終わった。小論文対策が不十分である。基礎学力の欠如が目立った。	・教員の指導力向上と指導方法の工夫改善を学校全体で取り組む。各教科と連携をとりながら、補習やキャリア学習講座の内容充実を図る。 ・全教員で小論文対策をする体制を作る。
6 保健	・健康管理の充実 ・教育相談の充実 ・安全な環境作り ・学校保健安全に関する組織作り	B	・全校生への健康相談で生徒の状態を把握できた。 ・28回のカウンセリングデーを有効に活用できた。 ・年間3回の安全点検を実施し、細かくチェックすることができた。	・自己管理意識が低い生徒が多い。 ・予防プログラムの実施には至らなかった。	・保健便り等を利用して、意識の向上を図る。 ・年間のカウンセリング回数を増やすよう要望する。
7 人権教育・特別支援教育の推進	・あらゆる教育活動を通じた人権教育 ・生徒の自立・向上を目指した取り組み ・生徒の実態に即した適切な教育支援	A	・「生徒実態調査」、「生徒情報交換会」を実施し、職員の共通理解を図ることができた。 ・学校コーディネーターを積極的に活用した。 ・ネット上でのいじめなど、新しい視点を人権ホームルームに取り入れ、いじめについて考えさせることができた。 ・生徒が、身近な問題として人権問題を考えることができるよう、具体的な教材の開発ができた。	・個々の特性に合わせた教育活動が必要である。 ・個別の二者面談・三者面談を行うことで、生徒個々の進路希望と目標達成の方法を探れるよう情報確認がもっと必要である。 ・人権教育の年間の指導計画が不十分であり、先を見越した指導ができていない。	・ケース会議を開催し、より良い支援を目指す。 ・情報収集の場を定期的に設け、情報共有のための機会を増やす。 ・人権教育指導計画を見直し、目標を明確化する。 ・人権標語の作成などを実施し、人権感覚の涵養を図る。
8 情報教育の推進	・情報環境の整備 ・情報機器を利用した授業作りの推進	A	・全教室にインターネットの環境を整備し、使用できるノートパソコンも23台用意できた。 ・全教員がインターネット、共有フォルダ、グループウェアに接続し、電子ファイルの情報共有が進み、仕事の効率化ができています。 ・ICT機器を使う研修を契機として、機器を活用した授業が増加した。	・授業に情報機器を使用しない教員もいるため、授業に活用できる方法などの理解を深めてもらう必要がある。	・使用機会が無くなった旧型のPCの再利用として、生徒が自由に使用できる環境を整備する。 ・「情報機器の活用」をテーマとした研究授業を年2回行う。
	・指導方法の研究		・年間3回の研究授業とそれに伴うワーク	・授業研究会、オープンス	・オープンスクールでエントリーした授業の

6 評価項目ごとの学校関係者評価

学校自己評価の結果及び改善策についての評価
<p>・学校行事を拝見して、生徒の皆さんが何となく自信を持ち始めておられる気がします。学校の中では、よくあいさつもしてくれます。生徒指導がうまくいき、学校が生徒の側に立って施策を講じ、努力が実ってきているからだと感じます。誇りにまで高まるような校風を作り上げてください。街の中であいさつができれば、いいですね。</p> <p>・意欲を持って入学した生徒の思いを大切にされ、様々な活動を通して広がり、学校全体の活性化につながる取り組みができています。</p> <p>・生徒が自信を持ってきていることが、校外での様子を見ても実感できる。</p> <p>・部活動が活性化すれば、おのずと学校も元気になる。勝つことも大切であるが、そのことよりも、部活動を通じて友達や先生方とのふれあいの大切さを理解させ、社会で活躍する元気な生徒の育成を望む。</p> <p>・人対人の親身の指導が、少しずつ実を結ぶと信じます。</p> <p>・体育祭、文化祭とは別に、何か生徒自身の手作りの行事があればいいのかなあ、と思うときがあります。</p> <p>・一部の生徒だと思いますが、地域見回りの方から、素行のクレームがあり、高校生ならではの、さわやかな対応力を身に付ける指導をお願いします。</p>
<p>・現場で「見る・聴く・知る」ことは、とても大切です。効果的な体験学習を当て、その時の生徒の感想を、直後に面接や文章化させる等、「学びの力」が記憶の新しいときに定着するよう工夫することも考えられます。</p> <p>・総じて基礎学力の定着度は高くないようですが、あきらめ、投げ出すことなく、粘り強さを備えた姿勢を育み、個々の生徒にあった地道な取り組みが必要になると思います。</p> <p>・昨今の社会情勢から、特に就職面では、大変厳しいと思います。基礎学力の向上を図り、競争試験に打ち勝つ力を、全教職員の一致協力の下、つけさせてください。</p> <p>・大学進学については、1年や2年で結果が出るものではないが、これまでの先生方の努力があり、現在に至っている。引き続き、粘り強く進路指導や学習を進めていただきたい。</p> <p>・国公立大学、有名私大への進学者を期待します。</p> <p>・企業からの認知度は、近隣の他校などと比較すると、まだまだ低く、向上させていく必要を感じます。</p>
<p>・高等学校には、学校保健委員会が組織されていると思いますが、年間計画や運営について、各委員はどのようにコメントされていますか。養護教諭一人のふんばりだけでは、負担が大きいですと考えますが。</p> <p>・就労している生徒も多く、一個人としてではなく、成人として自分を取り巻く周りの健康安全を考え、行動がとれるよう、一層の意識付けを図られたい。</p> <p>・地味な分掌ですが、定時制生徒にとっては、特に重要な役割です。一層のご努力をお願いします。</p> <p>・これから社会で活躍する生徒たちに求められるものは「健康」である。自分で管理することの基本的なことを教えるには根気が必要である。当たり前のことを当たり前に出来る生徒の育成を望む。</p> <p>・なかなか難しいと思いますが、精神的健康の充実を。専門のカウンセラー配属とか。</p>
<p>・人格の形成と人間関係の構築は、大人になっても難しいものである。青春期にある子ども達は多感でコントロールするのも大変です。基本は人を大切にし、人権を尊ぶ心を育むこと。地道な取り組みとなるでしょうが、保護者の理解と協力が不可欠ですので、今後一層ご指導をお願いします。</p> <p>・自分が大切にされ、必要とされる人間になるためには、どのような姿勢、態度が求められるのか、面談や日々の活動を通じた様々な取り組みに期待しています。</p> <p>・どの学校においても「人権」においては、弱い部分であると考えます。市町の人権担当者を招聘し、ビデオ学習をするなど、引き続き努力されることを期待する。</p> <p>・個別面談は大切だと思います。</p> <p>・スマートフォンを利用したネットいじめについても、警察のサイバー犯罪対策課との連携もよいのではないかと。(されているかもしれない)</p>
<p>・時代の変化が猛スピードで進みます。ロボット工学も格段に進歩し、やがて人間はキーボードを操作しなくてもIT操作が可能になるでしょう。今は、その途中。誰もがPC操作得意とはいえないでしょうが、ICT環境の充実に努力を傾注してください。</p> <p>・ICT機器を導入し、授業を展開されていることについては、引き続き推進を望む。</p> <p>・タブレットPC等の活用は、高校教育には、なじまないのだろうか。情報機器の活用の特化した研究授業を効果的に進めていただき、職員のスキルアップを図っていただきたい。</p> <p>・題材、教科等必要に応じて利用できるよう、機器の活用研修を計画的に実施されればと思います。</p> <p>・使用機会のなくなった旧型PCにこだわることも経費の面から大切であるが、新機器に目を向け、授業効率をアップすることも大切であると考えます。</p>
<p>・西脇北高校の先生方、職員の皆様は、十分資質が高く、敬服しております。申し上げることはありません。</p>

兵庫県立西脇北高等学校 平成26年度学校関係者評価

9 教職員の資質向上	・校内研修の充実	A	シヨップ型授業研究会、全教員の授業エントリーと授業見学シートを活用した年2回のオープンスクールを実施し、それぞれについてまとめを行った。	クールともに取り組みの効果等において全教員のアンケート結果は概ね肯定的であったが指導案の作成等で教師の負担が増えた。	学習指導案の作成は、より簡略化した授業設計の作成とする。また、他の行事と組み合わせて外来者の参加を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ・大量のデータを分かりやすく、効果的に扱っておられ、若手教員も積極的にに関わり、一段と成長されているように外部から見て感じます。 ・先生方の異動で、年ごとに学校の方向に差異がでないよう、指導的立場にある先生方は、後継者をしっかり育ててください。 ・指導案の作成については、指導の基礎にあたる部分であり、重要なところであることは承知しているが、指導案にかかる時間を、個々の先生方の授業研究の時間に充てることは出来ないだろうか。 ・北高のさらなる知名度アップ。これにより自然と向上されていくと思います。
------------	----------	---	--	--	--	--